

町内会・自治会等ヒアリング（1回目）  
地域の資源・課題編 結果概要  
みたけ・厨川地域

※主な意見等を抜粋しています。また、同種の内容はまとめて記載しています。

「問1」については、各町内会等が主に属する地域の【地域別構想】をご覧ください、平成21年度の見直し時から約10年が経過したことを踏まえ、記載されている内容について、この約10年間で感じる地域の課題や変化、意見等についてお聞きしました。

①『地域の好きなおところ』について

- 運動公園、武道館などスポーツ施設を有し、緑も多く岩手山も美しく見えるすばらしい環境の地域である。さらにこの10年で商業施設（ショッピングモール）も整備され、より住みやすいまちになっていると思う。
- 公共交通が比較的充実しており道路も幅員が確保されて碁盤の目状で走行しやすい。
- 緑道など歩道が比較的整備されている。
- 町内会、子ども会などコミュニティが形成されている。
- IGR 厨川駅があり、国道4号線には岩手県交通、岩手県北バスのバス停留所があり、市民の意見に記載されているように交通の便はよいということ。欲を言えば鉄道とバスの乗り継ぎ時間がうまく合うとより利用しやすくなると思う。
- 岩手山が美しく見えるし、ダムや農業試験場の自然が近くにある。
- 犯罪や事件が少なく住みやすい。また水害やがけ崩れの心配がない。

②『地域の課題』について

- 大型商業施設の集客力、滝沢インターの開設により交通量が大幅に増加、特に土日は渋滞も発生している。
- 地域活動（町内会活動等）など地域住民の連帯感が無関心層の増加や高齢化に伴う担い手不足などにより次第に弱まっている。
- 新住民（アパートなど）のゴミ出しマナー違反（従来の住民でも高齢者の方なども）。
- 町内会行事等、役員の成り手など積極性に欠ける点。
- 120ページの資料に「年齢構成の若い地域」である旨記載されているが、自分が所属する自治会では61世帯のなかに小学生がひとりだけという状態で「年齢構成の若い地域」というイメージはない。高齢化がやはり問題であると考えます。
- 鉄道の西側には大きなショッピングセンターができて便利になったが、そこまでいくのに高齢者は大変だと話している。線路を越えなくても買い物ができる場所が身近にほしい。
- 国道4号線の横断ができない。厨川三丁目地内の小学校付近に横断歩道を設置してもらいたい。
- 国道が整備され（北側）通過する車の速度が速く事故が心配だ。
- 緑町・公営アパート・西厨川共用の集会所があるが避難所ではないが、東日本大震災では近くの公営アパートに独占された。新幹線、国道4号線の西側に避難所がほしい。
- 地域の課題は隣り合わせ、緑町、西厨川とのコミュニケーションがあまりない。
- 交通が不便（バス）。若い人は自家用車を持っていますが高齢者はいません。
- 病院関係ですが専門病院が少ない。
- 少子高齢化、生活様式の多様化等により、各種行事の実施が難しくなっている。

### ③『地域の資源・課題マップ』について

- 運動公園等、各種公共施設の経年劣化が進んでいると思われるので適切な修繕、維持が必要。
- 交通量の増加が顕著であり、交通事故等の未然防止の観点から信号、横断歩道等の整備が必要。
- JR 団地の空き地の活用。
- みたけ地域から緑が丘地域への公共交通での移動手段がない（利用頻度は少ないが）。
- 県営運動公園の競技場近くの駐車場が少ない。
- 国道 4 号線を利用する車の猛スピードが目立つ。
- 除雪した雪が歩道に乗り上げたりするため、ゴミ置き場の除雪が大変である。
- 高齢化に伴い、病院が少ないため通院に難渋している。
- 自然災害への対応、特に洪水（北上川）による護岸崩れが心配される。

### ④その他

- 木賊川の整備（除草など）に苦慮している。
- 自治会活動の中心となるであろう老人福祉センターの建物が経年劣化で雨漏り等がひどく衛生上も問題があると感じている。予算のないことも理解はしているが、施設の維持修繕も積極的に取り組んでほしい。
- ゴミ置き場が当地区では大きな大きな課題である。
- 町内会の役員の選考が毎年の課題である。
- 町内に商店がほとんどなく車の運転ができなくなった時の日常生活が心配である。
- 国道の歩道（小学校の北側、東側）に花壇があり町内で花を植えているが住民の高齢化によりいつまで管理できるか課題となっている。

「問 2」については、まちづくり全般に関する意見についてお聞きしました。

- 渋滞緩和のひとつとして南北のアクセスの改良が必要と考える。
- 今後、地域に高齢化の波が押し寄せるもとで地域包括ケアシステムの構築が課題となっています。そのためのマンパワーの確保（町内会、地域内の企業、ボランティアなど）が必要です。いま福祉推進会でも議論を始めるところです。
- 市内各地に道路が整備されているが途中で工事が止まっているところが多く見られる（市道：厨川四、五丁目付近）。
- 盛岡は冬期間に積雪・凍結道路の解消に課題があるので改善してほしい。
- 理想のまちづくりには多額の費用が必要で長期展望での構想が必要。
- 緑町の長期展望は消防車が各家庭まで接近できる道路の拡幅が必要。行き止まりの道が多く除雪車も入れないところが多い。
- 国の農林水産省の土地があまりにも広いのでその分何かに利用できないのか。国の土地があるため北上市みたいに会社が建てられないと思います。
- 働き方改革等により働く人々の年齢が高くなり自治会役員のなり手が少ない（探しにくい）。
- 自治会の運営が危機にある。

町内会・自治会等ヒアリング（2回目）  
まちづくりの方向性と基本方針編 結果概要  
みたけ・厨川地域

※主な意見等を抜粋しています。また、同種の内容はまとめて記載しています。

「問1」については、添付した地域の現状データや、1回目のヒアリングの結果概要及び各町内会等が主に属する地域の【地域別構想】を確認いただき、各項目への追加、修正点や今後の地域のまちづくりに関する意見等についてお聞きしました。

①『まちづくりの方向性』について

- 緑豊かな美しい景観を守り、次世代に残すよう本気で取り組んでほしいと思います。
- 近年、大型商業施設の設置により生活の利便性は向上している一方、交通渋滞が顕著になるなど、地域の安全面で懸念が増加している。安全・安心が確保できる環境整備が必要である。
- 北厨川小学校付近に信号付きの横断歩道の設置を。
- 若い人が魅力を感じることができるまちづくりを目指す。

②『まちづくりの目標』について

- 道路交通網の拡幅整備、特に北陵中学校の早期拡幅。
- 現状はこのままでいいと思うが10年後、20年後のまちづくりを考えて行動すべき。

③『まちづくりの基本方針』について

- 環境、衛生、健康、利便性を考慮したまちづくり。
- 当地区は近年、大型商業施設の整備により賑わいをみせており住宅の新築も相応にみられるが、一方既存の工場の閉鎖や撤退も散見され商・工・住のバランスは崩れつつあり、商・住を中心にまちづくりをすすめたほうが良いと思われる。

④『まちづくりの方針マップ』について

- 桜の回廊は毎年美しい桜並木になっているが、市が伐採の方針のようにみえるのでぜひ守ってほしいものです。

「問2」については、広く今後のまちづくりについて検討する必要があると感じることについてお聞きしました。

- 今回の取組みで地域全体に関わる問題から地域課題まで幅広くあることが分かった。ワークショップは参加できなかったがみんなで考え合う機会は今後も必要だと感じました。